



9月から10月にかけて、様々なスポーツの大会・競技をテレビやニュースで見ることができ、嬉しい限りです。日本人選手だけでなく、出場するの選手みんなの粘り強く、最後までベストを尽くす態度には拍手を送りたいと思います。また、鹿児島県では、国民体育大会も開催され、南島原市出身の選手のみなさんの活躍が見られました。

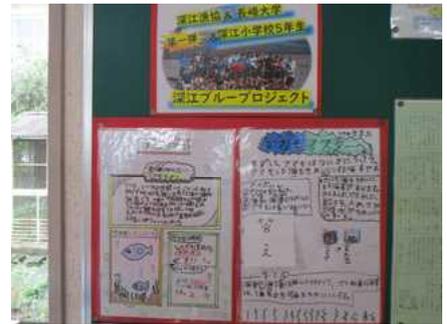
社会体育においても、多くの団体、個人競技で素晴らしい成績を収められています。指導者の皆様、また子供たちを支えてくださる保護者の皆様に感謝申し上げます。

5年生 「深江ブループロジェクト」 地域への発信

本校では5年生が、総合的な学習の時間で、環境教育「深江ブループロジェクト」に取り組んでいます。その様子は、第7号(6月29日発行)に記載していましたが、5年生では、前半における学習のまとめをし、掲示物を作成しました。

深江町内の公共施設(公民館・図書館)や事業所等、併せて9カ所に掲示させていただき、地域のみなさんへも、海の環境保全について幅広く理解してもらいたいという思いをもっています。各事業所におかれましては、快く承諾していただき、大変ありがたく思います。

11月はじめには、第2弾「アマモの種まき」を予定しているそうです。子供たちの古里を思う気持ち、環境保全への意識が更に高まればと思います。



2年生 図書館見学 10月5日(木)

2年生生活科において「えがおみつたんけんたい」の学習を進めており、先日、深江図書館を見学しました。館内を案内していただいたり、普段入ることのできない部屋にも入らせていただいたりして、驚きの表情だったようです。また、紙芝居で図書館のルールを教えていただきました。貸出処理の体験もしたそうです。見学や話を聞くことで、図書館で働く人の工夫や努力について知り、仕事の一部を体験することで仕事の大変さや苦勞や願いに気付くことができたのではないのでしょうか。



諏訪神社 秋祭りから 10月14日(土)・15日(日)

朝夕は涼しくなり、澄んだ空気の中、10月14日(土)お下り、15日(日)お上りが行われました。多くの地域の方々が見守る中、秋の大祭が執り行われ、その中で、本校の6年生4名が、御神楽の巫女として、舞を奉納しました。4名の児童は、9月下旬から指導を受け、練習を重ねてきました。荘厳な舞は、気持ちが引き締まるたいへん立派な振る舞いでした。



6年生 「命の教育」から

川口先生が6年1組の児童対象に、「命の教育」について授業を行いました。

大切なものにはどんなことがあるか尋ね、その中で「命」に着目させました。黒の画用紙に開いた

一点の小さな穴。それが受精卵です。心臓の音や産声を聞いたり、生まれたときの赤ちゃんをだっこしたりしました。更に驚いたのは、当時世界最小で生まれた268gの赤ちゃん。リンゴ一個分の重さだそうです。子供たちは恐る恐る大切に、手の中に収めました。その後、自分のよいところを知る、自分の夢や可能性について確かめました。「命は、あなたの、わたしの生きる時間」としてまとめました。



<リンゴ一個分268gの赤ちゃん>

<標準的な赤ちゃん>



行ってきました、6年修学旅行 10月19日(木)・20日(金)



<吉野ヶ里歴史公園:物見やぐら>



<竪穴住居>



<ゲートを渡るとイノシシの群れが…>



<ホテルを背景に>



<ホテルを食事会場>



<キッズニア:職業体験学習の一部>



県外への修学旅行でもあり、出発式では、32年前の噴火災害時、全国から支援、励ましをいただいたことへの感謝の気持ちを

忘れないようにしようと伝えました。そういった中で、深江小学校が重点的に取り組んでいる「3つのあ(あいさつ・ありがとうという感謝の気持ち・あとしまつ)」について、社会へ発信・実践するチャンスであることを確認しました。

「見て、聞いて、感じて、動く! (すべてを学びに)」というスローガンのもと、五感をフルに活用し、学びを深めました。班別学習において、会話・コミュニケーションを交わす中で、仲間と協力することの大切さを実感したことでしょう。また、多くの国際色豊かな一般客がいらっしゃる中での食事も貴重な体験でした。

2日間の修学旅行をとおして、ルールを守ることの大切さ、周りの人への気遣い、勝手な振る舞いを慎む、空気を感じるなど、社会性を営むにおいて必要なことを感じ、実践に導いたことと思います。短い時間ではありましたが、これらのことを自分の成長として感じ、今後の学校生活・家庭生活に活かすことができればと思います。

